

# 縮小社会研究会



## 第7回総会（会員のみ）

時：2019年3月10日（日）、10:30-11:00

所：同志社大学 烏丸キャンパス 志高館 SK108 烏丸今出川交差点より北に500m、

地図：[http://global-studies.doshisha.ac.jp/access\\_map/access\\_map.html](http://global-studies.doshisha.ac.jp/access_map/access_map.html)

---

## 第44回研究会（会員でない方の参加歓迎）

時：2019年3月10日（日）

所：同志社大学 烏丸キャンパス 志高館 SK108 烏丸今出川交差点より北に500m、

地図：[http://global-studies.doshisha.ac.jp/access\\_map/access\\_map.html](http://global-studies.doshisha.ac.jp/access_map/access_map.html)

11:10-11:40 「**マイクロプラスチックの実態と解決策** -縮小社会的生活の必然性」 **五十嵐敏雄**  
(マテリアルライフ学会・マイクロプラスチック研究会委員長)

海洋中でのマイクロプラスチック問題は社会問題・政治問題になっており、生物多様性への悪影響も懸念され始めている。その解決には、陸域でプラスチックゴミを出さないことが不可欠であり、縮小社会の考え方を取り入れて私たちの生活のあり方を見直すことが求められる。

11:45-12:15 「**再生可能エネルギー発電と縮小社会**」 **大今歩** (農業、高校非常勤講師)

再生可能エネルギー発電について経産省は「経済的に自立した主力電源化をめざす」としている。果たして主力電源化は可能なのか。またそのことは縮小社会の実現につながるのか。再エネ発電と縮小社会の関係について考えてみたい。

-----昼食-----

13:00-13:30 「**地球温暖化が迫る地球1個分の暮らし、社会**」 **長谷川浩** (福島県喜多方市在住)

世界の平均気温は、産業革命前から約1℃上昇し、ベストであと+0.5℃上昇し、最悪だとあと+2-4℃上昇する。「ベストのあと+0.5℃上昇」に留めるには、2030年までの11年間で勝負で、それ以降では間に合わない。11年間で孫子の代の方向性を決定づける意味について述べる。

13:35-14:05 「**農本主義のなれの果て！ さて、さて・・・！**」 **青野豊一** (農業)

農本主義は、資本主義の発展につれて、地下水脈のようにずっと語られてきた... 社会経済の危機の時、いつも語られてきた。しかし、その現実、して、そのことの意味はあったのであろうか。そして、今後は、・・・。

—裏に続く—

14:10-14:40 「文化芸術に感動する、それは即、来るべき生産活動の始動である」河野博（アートでたんぼ主催）

文化芸術は至高なもの、聖なるもの、そして感動するものとされ、実は人の営みから追い出されて来た。それは人類史に於ける生産活動、労働、その本質の記述そのものだからであった。しかし21世紀のパラダイムは、縮小社会では、そこで立ち上がる感動は、むしろ人類の生産活動の何たるかの記述であり、然るべき生産活動である感動である。

14:45-15:15 「もち麦を起爆剤とした町起こし村おこしは可能か——虹の邑農園 35年の総括からエコ農業の在り方・地域の生き残りを考える」長谷川義仁（農業）

共同農園「虹の邑（むら）」は エコ+共同体+遊びと労働の融合、総じて虹の邑参加者だけでなく邑以外の全ての人々のエコ的で平等且つ自由な関係性の中で生きる場作り（拠点）を求めて、始まった。そして35年、今、その崩壊の危機に直面している。この35年の営みは、現実に足場のない、洗練されることなき観念の妄想、戯れであったのか。そうではないことを述べ立ててみたい。日本農業の経営条件は、小規錯綜分散の耕地である。大平原での農業スタイルを持ちこむやり方は間違い、その根拠らしきものを提示したい（願望どまりの公算多）。小規模家族的経営農業にこそ、日本農業の未来があると強弁してみたい。

-----休憩-----

15:30-16:00 「縮小社会で夢を描く（私が離島で描く夢とは?）」宮本晶音（SilentAwashima.com）

社会が縮小して困る人とはどのような階層の人なのでしょう？老人？若者？役人？民間人？消費社会が推進する未来に、若者たちが家族と共に描く、豊かな人生設計の余地はあるのでしょうか？超高齢化が進む瀬戸内の離島からの提案です。

16:05-16:35 「地方政治と女性」 野村いくよ（枚方市議会議員）

市議会議員として16年、政治の場で考えてきたこと、とりくんできたことについて述べたいと思います。

16:40-17:10 「現代日本政治の構図を転換させるために～多様性が組織を変える」 伊藤公雄（京都産業大学教授）

行政権力の肥大化のなかで、データの隠蔽、消去、改ざんが平然と行われている現代日本政治を転換するには、これまでの男性主導の、グローバル企業だけに配慮した「成長」一本やりの方向転換が必要だ。そのためには、二つのG（gender と generation）の政治参画・意思決定参画の拡大が必要になる。縮小＝スロー社会への政治転換を、世代とジェンダーの視点から考える。

懇親会：17:30-19:30 場所：芙蓉園（烏丸今出川西入る）、費用：2000円（ドリンク別）

参加登録：下記の自動登録よりお願いします。

[http://confreg.ate-mahoroba.jp/confreg?conf\\_idstr=8jRvhYU7JF02FJhsFUieC4WA1033](http://confreg.ate-mahoroba.jp/confreg?conf_idstr=8jRvhYU7JF02FJhsFUieC4WA1033)

研究会参加費：会員は無料、非会員は500円

一般社団法人 縮小社会研究会 e-mail: [jimukyoku@shukusho.org](mailto:jimukyoku@shukusho.org) HP: <http://shukusho.org/>